

インタビュー (12月3日) 左から

2 Vn 武藤敦子 大勝秀也先生

コンミス立田祥子 Va 内田綾美

Cl a 時田雄 撮影編集 Va 星乗昭



### 🌸 ベートーベンの家歩いて5分の所に長く住んでいた！ 🌸

僕はベートーベンのシンフォニーが大好きで、運命も7番も第九も好きなんですけど、田園は中でも好きな曲です。ヨーロッパに長いこと住んでいて、しかもベートーベンが住んでいたすぐ近所に住んでいました。ベートーベンが生まれた家から、歩いて5分位の所に住んでいて、ベートーヴェンの家と私の家の丁度間にベートーベンが洗礼を受けた古い教会があって、パイプオルガンもあって、それでかな、ベートーベンが好きですね。昔はベートーベンの家も石畳みで車が入れない広場があってベートーベンも歩いたであろうとかいうところもありました。「旅行とかで行くと、小川があってここを散歩して「田園」を作曲したというのですが、その小川がちよろちよろ、なのですが、昔からああったのですか。」～昔からああったのです。でもハイリゲンシュタットで着想したのですが、そこでの自然の印象がすごく強かったのです。自然が好きだったのですね。「でも普通の人が見たらなんでもないような小川で、」～山登りをしたときの湧水のようなものです。それで田園の2楽章を作ったのですから不思議ですね。

12月3日 (土)

行徳文化ホール会議室



### 🌸 ベートーベンの耳が聞こえなくなった本当の理由は！ 🌸

ベートーベンが親に虐待されていたので、人とかかわるとか、人と楽しくやることや家族に憧れていて……雷なんかがあって…あれを聞いていると本当に可哀そうな人生で、モーツアルトみたいに稼げと親に言われて、ちょっと音楽の才能があるからと言って耳とか、お父さんにピンピンひっぱたかれて、それで聞こえなくなったという噂もあるくらいで。「雷の表現がすごいですよね」～そうですね。ベートーベンのお父さんはモーツアルトが父と二人でプラハとかで演奏して稼いだことを知って、うちの息子もそうならないかと思ってやったらしいです。それが影響したか、お父さんは大酒飲みで、ベートーヴェンも大酒飲みでワインがぶがぶ飲んでいたら、その中に薬や防腐剤なんかが入っていて、つまり鉛、鉛中毒、それで耳が聞こえなくなりました。気をつけなくてはいいけませんね。

12月10日 (土)

市川市文化会館小ホール



### 🌸 今回演奏する曲目にはみんな思い入れがある！ 🌸

「先生、田園のほかにも魔弾の射手にも思い入れが」～あるある。それを狙ったわけでもないのに3曲振ることになって、3曲ともドイツ音楽の超有名で、市響は私のなにを引き出そうとしているのか、という感じはありましたね。魔弾の射手は中でも一番振ったのではないかと思いますよ。スペイン演奏旅行に持っていたから。試されている感じがします。「未成交響曲なんですけど、あのメロディがきこえてくると、立ち止まって我を忘

れて聞き入っちゃうのですが。」～そうですよ。喫茶店でアイネクライネはよく流れるけれど、未完成が流れてきたら絶対飲めないし、話もできなくて我を忘れて聞き入っちゃうほどの名曲ですね。「あんなきれいな曲がこの世にあるのかとおもうほどなんですが」～出だしのチェロのメロディが神様のお告げのように聞こえてくる。指揮者泣かせの曲をよくもまあ3曲選んでくれた、という感じですね。「静かなシンコペーションが続く部分は嗚咽だと練習の時に先生がおっしゃいましたが」～私はそう思いますよ。2楽章の部分ですね。「そういう先生の独特の解釈が、先生は日本人なのにヨーロッパが長かったのでそういう解釈をされるのではと思いますが。田園でもほかの指揮者だとそうふらないのではと感じた部分があった」

### 🌸 指揮者になるには小学生の頃から指揮者になる勉強をする! 🌸

～わたしは留学する前の前の、子供の頃から変わっていたというか、感性が普通の人と変わっていたかもしれない。「指揮者になりたいから東京に残ったというのが、子供にはありえない。」～そう、ありえないですよ。でもね大野和士さんも現田茂夫さんも小学校から中学校にかけて変わった子供でした。「指揮者になるには変わっていないとなれないとか」～変わっていないと指揮者になれないのではなくて、たまたま指揮者になっている人が変わっていたという感じ。本当にみんな変わっている。それではっきり言うけど広上淳一さんも私も、大野君もみんな中学生のときには今くらい指揮振れていた。別に小学校。中学校から上手くなっていった、大学で急に上手くなっていったのではない。中学生の時には皆んな振れていたのを私は知っている。何故かというと中学校の時にみんな同じ先生の所にレッスンに行っていたから。皆十代の頃からすでに振れていた。指揮者になりたいという気持ちが強かった。小学生の頃ベルリンフィルがNHKの柿落としの演奏会さあー、と言ったらああ、それ俺も行ったよ、というのが5人位いるの。エツ何の曲の時?チャイコの4番の時、ああ、いたいたいたよ。

皆小学校の時同じ演奏会に行っていた。当時小学生の頃から自宅で、レコード集めていたり、小学生のころからあらかたのシンフォニー聞いているし、「おかしいですね。だって野球してたり、遊んでいると思うけど」～でもピアノのレッスンはやだとか言っているながらカラヤンを聞きに行ったりしている。皆10人くらい俺も行った、俺も行った。そういう人が指揮者になるんだよね。「親の影響は?」～ありましたよ。家は、母がピアノ弾いていたからレコードも沢山あったし。指揮科はね小学校の頃からレッスンに通っていた人が多い。聴音でしょ。ピアノでしょ、和声、指揮と私は毎週4つ行っていた。それで中学校位で大学の教科書終えて。「遊んでないですね」～いやもろ遊びましたよ。レッスンは行って、ちゃんと遊ぶ。だから高校の時に和声の赤とか黄色とか終わっていた。「すると手遅れですね」～いや稀に中学でブラスやって高校で指揮者になりたいと言ってなる人もいます。コントラバスから指揮者になる人けっこういますね。大友直人さんとか堤俊作さんとか。コントラバスの方はオケの全体を見渡せる位置にいる。様子がわかるみたい。「バイオリンは見ている暇ないから指揮者は少ないですね。」～それはいることはいるけどソロしながら指揮振りするとかして指揮者になるとか。それはいいと思いますけどね。{ビオラもいますよね}～いますよ。今日は有難うございました。

### 市川交響楽団協会年間予定

平成 29 年(2017)

- 2/12(日) #393「市川交響吹奏楽団定期演奏会」(吹奏楽)指揮:佐藤宗男
- 2/18,19 第23回市川市文化集会「天空の文化祭・2017」参加
- 5/5(祝) #394「市響ジュニア第42回定期演奏会」指揮:山崎 滋
- 7/9(日) #395「交響楽の午後」(オーケストラ)指揮:茂木大輔
- 9/3(日) #396「市吹秋のコンサート」(吹奏楽)指揮:佐藤宗男
- 10/15(日) #397「合唱の集い」指揮:山崎 滋

＜市川交響楽団協会創立65周年記念合同演奏会＞ヴェルディ/レクイエム

- 12/3(日) #398「ファミリー交響楽コンサート」(オーケストラ)指揮:中田延亮